

小・中・高校学習指導

体育科における授業研究

教科教育部 石 田 威

1. はじめに

学習指導要領の改訂により、体育科、保健体育科の目標は、小学校、中学校、高等学校の一貫性の観点から、学校の教育活動全体を通じて行う体育に関する指導や、教科の学習指導の方向として、総括的に示された。

教科の目標を達成するために、「小、中、高校の一貫性」が強調される趣旨を理解し、教科目標を受けて示された具体的な目標を適切に把握することが大切である。また、授業においては、これら目標達成のための工夫や改善も必要である。

ここでは、これら目標の把握と、授業改善の手だてとして「2-1-2方式の授業研究」について述べることにする。

2. 体育科、保健体育科の目標把握

新学習指導要領による、「教科の目標」、並びに、これらに関連する「学年の目標」(小学校)「体育分野の目標」(中学校)「体育科目の目標」(高等学校)を下表にまとめて示した。

——〈 小・中・高校の体育科目目標の関連 〉——

| 教 科 の 目 標                                 |   | 学 年 ・ 分 野 ・ 科 目 の 目 標 |  |
|---|---|-----------------------|--|
| 小・中・高校、それぞれ一貫性のうえにたって、それぞれ役割を果たすべき役割を示した。 | ・健康や体力についての理解と運動の合理的な実践を通して、健康の増進と体力の向上を図り、心身の調和的発達を促すとともに、明るく豊かで活力のある生活を営む態度を育てる。  | 高 等 学 校               | ・各種の運動を合理的に実践し、運動技能を高めるとともに、それらの経験を通して、公正、協力、責任などの態度を育て、強健な心身の発達を促し、生涯を通じて継続的に運動を実践できる能力と態度を育てる。   |
|   | ・運動の合理的な実践を通して運動に親しむ習慣を育てるとともに、健康・安全について理解させ、健康の増進と体力の向上を図り、明るく豊かな生活を営む態度を育てる。      | 中 学 校                 | (1) 各種の運動を適切に行わせることによって、強健な身体を育てるとともに、強い意志を養い体力の向上を図る。<br>(2) 各種の運動の合理的な実践を通して運動技能を習得させ、運動の楽しさを味わわせるとともに、生活を健全に明るくする能力と態度を育てる。<br>(3) 運動における競争や協同の経験を通して公正な態度を育て、進んで規則を守り、互いに協力して責任を果たすなどの態度を育てる。<br>(4) 健康・安全に留意して運動することができる態度を育てる。 |
|   | ・適切な運動の経験を通して運動に親しませるとともに、身近な生活における健康・安全について理解させ、健康の増進及び体力の向上を図り、楽しく明るい生活を営む態度を育てる。 | 小 5・6                 | (1) 各種の運動の楽しさを体得するとともに、その特性に応じた技能を養い、体力を高める。<br>(2) 協力、公正などの態度を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動する態度を育てる。<br>(3) 保健……省略   |
|   |   | 小 3・4                 | (1) 各種の運動を楽しくできるようにし、その特性に応じた技能を身につけ、体力を養う。<br>(2) 協力、公正などの態度を育てるとともに、健康・安全に留意して最後まで努力する態度を育てる。  |
|   |   | 小 1・2                 | (1) 各種の基本的運動及びゲームを楽しくできるようにし、体力を養う。<br>(2) だれとでも仲よくし、健康・安全に留意して運動する態度を育てる。   |

小学校においては、本年度から新学習指導要領の完全実施に入った。新学習指導要領への移行期において、もっぱら論議されたことは、低、中学年における「基本の運動」と「ゲーム」についてであった。「基本の運